

つきせぬ想い (1993)

新不了情

C'EST LA VIE, MON CHERI

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンس

製作国 香港

色彩 Color

時間 96分

初公開日 1994/12/23

公開情報 PARCO=ポニーキャニオン=扇町ミュージアム・スクエア

【解説】

手垢のついた難病ものの恋愛ストーリーをこれほど新鮮に捌いた作品が、今、質的にも急成長を遂げている香港映画から誕生したことは喜ばしい限りだ。主演のユンが何しろ素晴らしいが、作品自体も相当に優秀。ユンの主演賞を含め、93年度の香港アカデミー賞を総ナメにした。ユンは、翌94年にはなんと15もの作品に出演し人気沸騰。凋落の囁かれていた香港電影界を一身で救った形だが、それも頷ける靈感が本作の彼女には宿っている。

ジャズ・ミュージシャンのキット（チンワン）は商業主義と相容れず、長年の同棲相手の歌手トレイシー（ラウ）の成功を尻目に、鬱屈した日々を送っていた。彼は彼女の元を離れ、一人、安アパートに暮らすようになるが、夜はバーでオルガン弾きのバイトをしており、専門のサックスは放ったままだ。そして、昼、ぼつねんと過ごす児童公園で数匹の野良犬に餌をやる少女が気にかかる。彼女は、元歌手の母の一座のもとで唄を歌うミン。たまたま彼のアパートの階下に家族と住んでいた。快活なミンは彼をたびたび誘い出す。夜店や川舟の食堂、美しい香港の町並みを見下ろす山頂へ……。彼の内面は確実に変化を遂げた。書きかけの曲も彼女のために完成させると誓う。そんな彼にミンは、自分が不治の病に冒された体であったことを、理由を告げず病院に彼を連れて行き、あっさり告白した。担当の女医は、彼女が“奇跡的回復”を遂げたのだと語る……。

この悲恋劇の秀れた点は、その当然の結末（驚くほど簡潔に描かれる）でなく、こうした幸福な描写の中の“予感”で既に泣かせてしまうことだ。それを誘発するユンの眩いばかりの微笑、つぶらな瞳にこもる説得力……。これは近来にないメロドラマの傑作。すべての約束事を守りながら、そこに繊細な手心を加えているから。母親役のポー・ポーもまた絶妙だ。

【クレジット】

| | | |
|----|-----------|---------------|
| 監督 | イー・トンシン | Yee Tung-Sing |
| 製作 | チャン・モンワー | |
| 脚本 | イー・トンシン | Yee Tung-Sing |
| 撮影 | アダム・タム | Adam Tam |
| 音楽 | パオ・ペイタ | |
| 出演 | ラウ・チンワン | Lau Ching-Wan |
| | カーリーナ・ラウ | Carina Lau |
| | アニタ・ユン | Anita Yuen |
| | フォン・ポー・ポー | Bo Bo, Fung |
| | チョン・プイ | Chun Pooi |